

広報



かわにし

昭和63年 4/10 No.356

〒948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 (TEL 0257-68-3111)

(FAX 0257-68-3828)

発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社

(毎月10日発行)

人口の動き

— 4月1日現在 —

男 4,591 (-42)

女 4,713 (-46)

計 9,304 (-88)

世帯数 2,284 (-8)

() 前月比較



かがやいています 花咲く娘たち

☆ 3月5日 第1回川西雪まつり前夜祭 ☆
—— 角万寺特設ステージ ——

この夜発表された初代「ミスかわにし」
3人のお嬢さん。

ヤングの代表として、「笑顔で町をPR
します」と、はりきってくれました。

[左から榎間順子さん(伊友)、小林まゆみさん(中仙田)、数藤美穂子さん(沖立)]



休日救急医

4月17日 山口医院(下条) ☎55-2003

24日 中条病院(中条) ☎57-3018

29日 庭野医院(寿町) ☎52-2711

5月1日 山口医院(下条) ☎55-2003

3日 池田医院(本町西) ☎52-2581

4日 中条病院(中条) ☎57-3018

5日 大島医院(川原町) ☎52-2957

8日 千手診療所(中央町) ☎68-2034

議会 報告

三月一日から始まった第一回町議会定例会が、二十六日間の全日程を終わり、二十六日に閉会しました。

三日、町長の施政方針演説と新年度予算の提案説明がありました。以後、各常任委員会の審議を経て、二十四日全会一致で昭和六十三年度川西町一般会計と九つの特別会計予算が成立しました。

二時間近くにも及んだ南雲町長の演説から、六十三年度重点施策の概要を紹介します。

総合開発計画を着実に 積極、大型の予算で実施

昭和六十三年度は、第四次町総合開発計画中期第一年度にあ

たることと、大型リゾート整備基本計画策定の年度となる見込みであります。

に定められたプロジェクトに従って、重点施策に、引き続き次の五項目を掲げて取り組みたいと考えております。

昨年末答申の、総合開発計画

有効に活かしたい活性化センター

水田農業確立対策の推進

国は、水田農業確立対策に加え、米需給均衡化対策により、さらに水田転作の強化、米価水準の連続引き下げなど、極めて厳しい対応を迫っています。このため、農村社会基盤の維持・

確保には、一層の体質強化が求められると思います。町でも、農業団体と協調を強めて、対策の強化につとめたい。

企業誘致の推進

若者の定住推進のため、引き続き取り組みを強化したい。県

でも製造工場のほか、情報産業などに対しても奨励措置を拡大する方向を示しているため、町も同様な対応を開拓したい。ま



前回の町民体育祭(59・10)

町民体育祭と健康づくり大会開催

町民体育祭の開催

恒例の町民体育祭の開催。「体力づくり宣言町」十周年記念事業を、保健衛生分野の「健康づくり大会」とタイアップして実施したい。また、総合体育館屋根などの修繕を実施したい。

中学校特別教室棟の改修

町立教育施設維持修繕の第二弾として、昨年度に引き続き中学校特別教室棟の大規模修繕と

た、農業振興地域の見直しを積極的に進めたい。

村おこし事業

地域活性化センターの完成に伴い、村おこし事業のこれまでの成果を総括し、センター施設機能の發揮に資したい。

大橋完成後に伴う商業振興策

六十二年度に町商工会で実施した「新十日町大橋完成後における川西町の商業環境の変化と対応」に示された諸事項を基礎とし、魅力ある商店形成をテーマとした組織支援を実施したい。

堆肥センター建設準備

良質米産地の名声保持、畑作振興のため、六十四年度堆肥センター建設のため、必要な準備に入りたい。

懸案の屋内体育館照明の改修を図る。

運動施設の増設

白倉地区の集落広場の造成と高倉地区のテニスコートの造成をする。

教員住宅の新築

仙田地区教員住宅の老朽化対策として、別途六世帯分の住宅を新築する。

除雪路線の拡大と消雪パイプ整備

除雪機械増強と路線の拡大

ロータリー除雪車の新規購入による、機械力の強化と、町道の改良舗装で、除雪路線の拡大を図る。

町道消雪パイプ事業の復活

地下水の低下現象調査と、これのかん養事業のため、新規町道消雪パイプ敷設事業を中止してきたが、水源対策の十分な地域における同工事の復活を図る。

水の総合利用計画の策定

町は、地域の東側を大河信濃川に接していること、仙田地区

のほぼ中央部に洩海川が貫流していることなどから、本来、水

利用には高い立地の位置にありながら、その河川はいずれも残水の排水としての利用にとどまっている。このため、慢性的な水不足地域である。水の利用は、地域振興上、極めて重要視されなければならない。すでに、水道用水をはじめ主要な水資源については、JR東日本会社との間でいろいろ協議中であるが、本年は、さらに具体的な検討をし、恒久対策を確立させたい。

健康づくりと明るい家庭づくり

水道水源の恒久対策

信濃川発電所工事施工に伴う補償工事として、年内に水源対策を終了し、浄水場工事を着手したい。

下水道事業の促進

橋地区集落排水事業の着工と、川辺地区集落排水事業実施計画の策定。今後は、町内主要地域の下水道計画を進めたい。

中子地区土地利用計画の策定

懸案であった中子地区の土地利用計画の策定に伴い、年次的

に開発に着手したい。そのため、六十三年度は、連絡町道の実施

計画と用地取得に着手したい。

健康づくりの推進について

健康で明るい家庭づくりは、

人生最大の願望であります。保

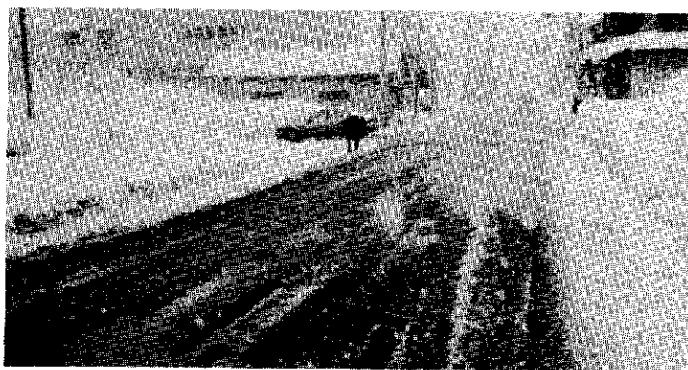
健センター完成を契機として、

健康づくりの各種イベントのほ

か、一日人間ドック助成事業を

行い、予防活動と併せ、病気の

早期発見、早期治療対策を講じたい。



県道の消雪パイプ（中島町）

福祉対策の強化

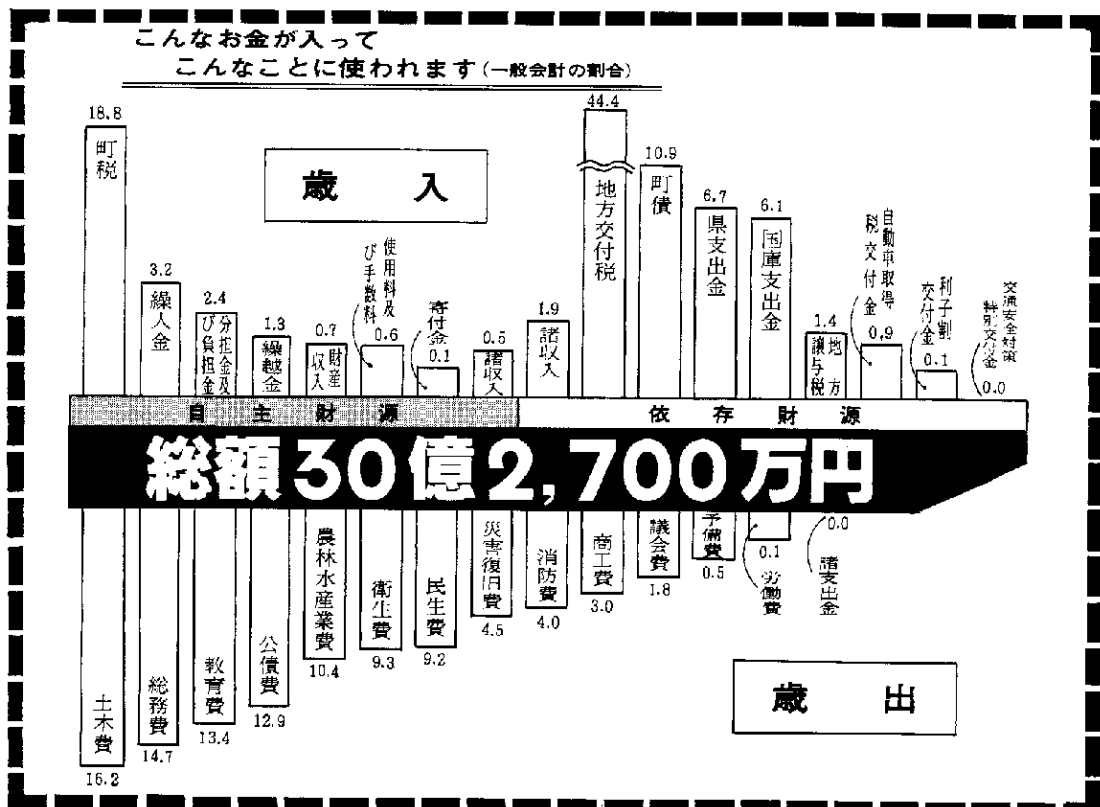
福祉対策については、高齢化が進む中で、一層その強化を図らなければならないところであり、新年度からは、児童福祉と併せこの面をより強化してまいりたい。

町にふさわしいリゾート

県大型リゾート整備基本構想によれば、川西町は副次核地域として、重点整備八地区との整合を得ながら整備を進める地域

とされています。しかし、具体的に進出企業決定もない現状では、如何ともなしい難い実情にあります。町にふさわしい事業選

定、企業導入を図って対応しなければなりません。現在は、町長交際費の増額などで対応していますが、必要によっては、役場組織の変更を含めて弾力的に対応したいと考えています。



総括質疑

高齢化社会への対応

柳 藤 作 議員

- ① 老人保健施設の建設を
- ② ねたきり老人のためのボランティア活動に登録制度を採り入れたらどうか。

南 雲 町 長

① 国は、昨年十一月「老人保健施設整備及び運営に関する基準」を策定した。「入院の必要はないが寝たきりなどで介護を要するお年寄り」が、昭和七十五年度には、希望する施設で療養しながら生活できるように整備を進めること」としている。町の寝たきり老人の実態は、今年二月で三二人と年々増加傾向に



老人スポーツ大会 (62. 7. 27総合体育館)

ある。痴ほう性老人は、八人と聞いている。
老人保健施設と地域の病院や老人ホームなど社会福祉施設が相互に補完しあい、連動して機

三月二十三日、会期の前半に委員会付託となった保健・活性化センター条例と上水道・簡易水道条例を原案どおり可決したあと、八人の議員から六十三年度予算についての総括質疑がありました。
翌二十四日には、予算の成立のほか、十日町実業高校に建設工学科新設についての請願（総文委員会付託）などを審議、可決しました。
そして、最終日二十六日は、六十二年度一般会計など補正予算六件、町道路線の認定変更、月見荘の財産譲与などが原案どおり可決されました。
今回は、総括質疑を中心に報告します。（以下質問順に掲載）

能することを基本として、老人施設設置に前向きで対応したい。私は、すでに郡町村会に対しては、その意志を鮮明にしているところである。

しかし、国は、あらかじめ広域圏単位で年間八県、数箇所を原則とするなど厳しい状況である。この施設は、医師とのかかわりが非常に強い。あわせて、いまの診療所問題も並行して煮詰めなければならぬ。

② 現在、社会福祉協議会で掌握しているボランティアは四団体、一〇四人。ボランティアバンクでは改善の余地もあると提案している。県社会福祉協議会でも根本的に検討すべき課題であると指導している。

登録制は、現時点では、まだ研究の余地がある、と考える。

国道改良と水道水源

登坂 茂 議員

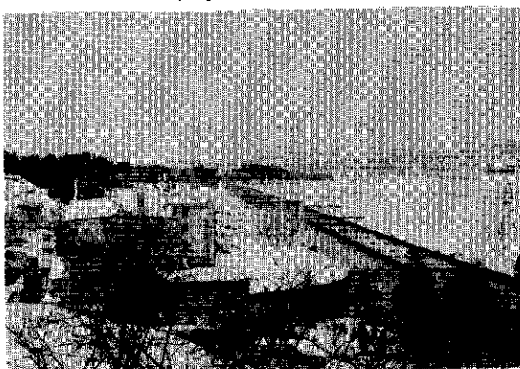
- ① 水道水源の将来と白倉簡水の水源確保
- ② 温泉調査委託料の有効活用を

南 雲 町 長

① 最近、信濃川河畔の地下水量は、本流量減少のためか、減っているようだ。水路トンネルの横坑ゆう水も検討中だし、千手発電所放水路下の地下流水という具体案も出ている。いずれにしても二段、三段の構えで安定水源確保に尽くさなければならぬ。現在その過程にある。

白倉方面の国道改良工事に伴う水源問題は、今の時点ではちがった観点で考えるべきだと思ふ。水道第三期拡張計画が完了すれば、水量的には対応できる計算だ。・現施設を再構築する費用・岩瀬から送水する費用・上水道一元化のメリットなど

J R 千手発電所と放水路



を検討して結論づけるべきではないかと考える。
② 現在は、地表の地質調査、自然放射能調査、それから地温調査を考えている。ボーリングの段階には至っていない。適地を見極めるための調査である。
鉱泉は、大倉あるいは小脇をうかがっている。十分調査のうえ、見込みがあるかどうか見極める必要がある。

国際結婚と里帰り

戸田 哲 次 議員

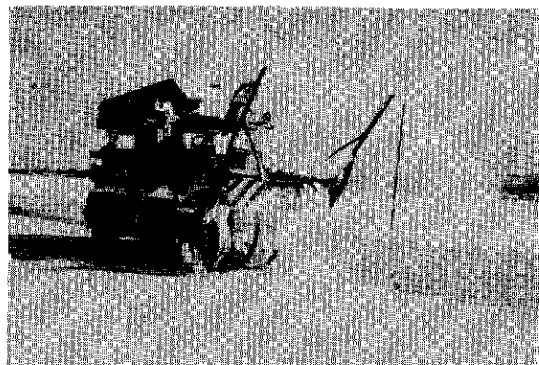
- ① 除雪対策の強化
- ② 温泉調査を東京電力送電線計画に参加させては

- ③ 国際結婚の里帰りの助成と、両国自治体の交流
- ④ 県のアットホーム（老人共同アパート）事業の導入と対応

南 雲 町 長

① 一部の路線では、幅員などの関係で、地域からお骨折りいただかなければならない部分が生じることは、いたしかたないと思う。集落あるいは共同で小型ロータリーなどを購入した場合、共同のものは補助制度を、個人には融資制度を進める必要があるのではないか、と考える。六十四年度実施に向けて検討したい。

現在の流雪溝計画を、各ゾーン別の必要水量を合計すると秒



幹線道路の除雪（霜条地内）

- 間〇・七五九トンとなる。一日九時間流水で二、四六〇トンとなる。一と冬概算一〇〇万トンの水量となる。現時点の試算では、横坑ゆう水などで確保可能な見通しがたてられている。農業用水の季節別利用を考えれば、さらに効率のよいものになると思う。土地改良区とも協議を重ね総合的な水利利用を議会の特別委員会でご審議いただき、J R信工との補償と水問題の交渉を強力に進めなければならない。
- ② 現時点では、必要な話し合いは進めている、とだけ申し上げておきたい。
- ③ 四人の花嫁さんは、それぞれ明るく平和な家庭づくりにつとめている様子で喜んでいる。そのうち一人は、出産の見通しも聞いている。
- 里帰りは、あくまでもプライベートのことであり、私どもが強制するという性格ではないと思う。
- 花嫁さん側の自治体との交流は、積極的に考えない方がいいのではないかと思う。むしろ、現地の窓口役の日系人との結びつきを切らさないことが望ましいと思う。
- ④ 県では六十三年度予算でも、冬季シルバーアットホーム事業を、県単独事業として計上して

いる。これは、冬期間安全な生活の場を提供する共同アパート的なものと受けとめている。実施主体は、市町村で、六十三年度県内二か所程度予定されている。総合開発計画中期基本計画の見直しで、老人の集合住宅整備を検討する構想になっている。県のモデル的推移を見なが

宅造と養豚公害

平 野 正 義 議員

- ① 松葉荘に結婚式場を造る考えはないか。
- ② 山野田地区の宅地造成と養豚公害の関係は
- ③ 今後の町職員採用の見通しは
- ④ 雪まつりをはじめとする各種イベントに対する賛助金を
- ⑤ 嫁・婿対策

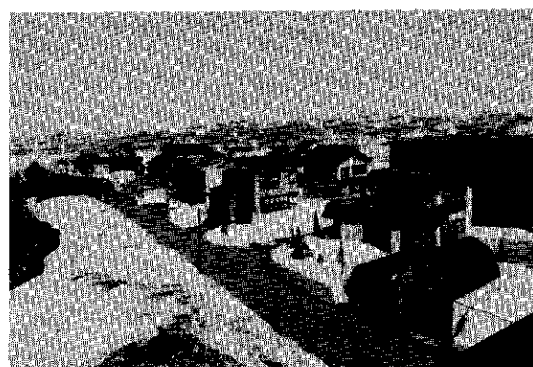
南 雲 町 長

- ① 地方自治体の中には、民間ができる業務は極力さけているものと、逆に広く手を延ばしているところと、いろいろである。町営の結婚式場が住民サービスにつながるかどうか慎重に検討したい。
- ② 無秩序な宅地化による環境の

ら実現に向けて努力したい。
この圏域では、特別養護老人ホーム（恵福園、三好園）と養護老人ホーム（妻有荘）がある。この三施設の適切な処遇が課題と思う。有料のホームは、この圏域には、いまだ先のことではないか、と思っている。

悪化防止と、限られた土地の有効利用という見地から、六十六年の十日町大橋完成と山野田下平線供用開始を目標年次として、それなりの取り組みを検討しているところである。

悪臭問題は、養豚農家も、昨



サージタンク周辺の住宅（朝日町）

- 年度浄化槽などの施設改善をしている。六十三年度は、堆肥センター建設にとりかかる予定だ。公害悪臭が、宅地開発に悪影響を及ぼさないよう、今後とも環境浄化につとめたい。
- ③ 五十三年四月からの採用者数四五人、退職者数六七人、差引二二人の職員が減少している。今後五年間に二六人の勇退が予定されている。一方、毎年四月自治省が実施する定員管理調査では、職員数が三〇人多いと指摘されている。これは、高度成長期の事業量増加にともなう増員が大きな要因で、好ましい姿ではない。しかし、定年制条例で一般職六十歳、管理職五十八歳勧奨を運用しているかぎり、急速には是正したい問題である。事務改善を進めながら、職員数の削減が住民福祉のサービス低下に直結しないよう努力したい。
- ④ 初の雪まつりは、延べ一万人が参加、大成功に終わった。町内の業界、町民への波及効果は大きく、活性化につながるものなので、今後も続けたい。賛助金は、今後できるだけ広く大勢の方からご協力いただきたいという意見が多かった。しかしいかに任意であっても強制的なお金があつてはならない。

⑤ 今年三月一日現在で、三十歳以上の独身者は男一〇三人、女一九人で男が一〇・七倍となっている。行政の立場では、関係

者の意向を尊重しながら、引き続き「ふれあいかわにし」「いきいきツアー」など、ふれ合いの機会の創設につとめたい。

交付税と農業予算

滋野 一郎 議員

① 六十三年度の地方交付税の見通しは

② 水田農業確立対策費が前年度より減額された理由

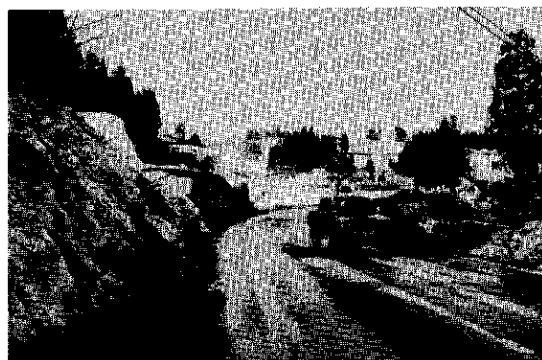
③ J R 小千谷第二発電所建設に伴う町の対応は

④ 主要地方道小千谷・十日町・津南線の格上げ運動

南 雲 町 長

① 例年のことながら予算編成段階では、まだ地方財政計画が明らかになっていない。そのため、歳入予算総額の四五%を見込んで算定した。・過去の実績・変動要素・国県の資料、をふまえて最大限実態に近い数値を求め、過大見積りにならないよう配慮した。予算計上額は確保できると判断している。

② 水田農業確立対策費は、対前年比九六・一%と減少している。しかし、六十一年対比一七八・



川西ダム附近のJ R 工事現場

七%と大幅に伸びている。転作機械の補助分三六・三%百五十万三千円が減少している。この分を差し引くと対前年比一二〇・七%百一十二万六千円の伸びである。したがって、六十二年度は一過性の要素が非常に強いことをご理解願いたい。

③ (前段は、登坂議員の質問に対する①と戸田議員の①に対する答弁と同内容につき省略) 農業用水、工業用水、生活用

水を含めて水資源確保と補償交渉は一体でありながら、複雑な要素がからみあっている。特別委員会に総合水利用の考え方を示し、議員各位のご審議を経たうえで新たにJR交渉にのぞむべきである、ということから、総合水利用計画の策定を

守れ！町の花ヤマユリ

小林 正 人 議員

① 町の花ヤマユリの保護条例制定を

② 農業共済組合の広域合併問題

③ 町行造林に広葉樹を選定してはどうか

南 雲 町 長

① ヤマユリは、五十一年、合併二十周年記念の際、町の木、鳥とともに町の花としてきめ、町民憲章にもうたわれている。町が、この根絶を防ぐことは当然である。条例制定は、検討しなければならぬ問題もある。当面、看板を立てるなど検討したい。

② (1)事務所の位置は、十日町市内で極力、中里、津南寄りにご配慮いただくことで合意して

急いできたわけである。正式には、これからが本番である。

④ 道路整備の一つの手段として、国道認定が先決であることは承知している。しかし、主要地方道小千谷・十日町・津南線の国道昇格運動は、私から積極的に呼びかける客観的な情勢にない。

いる。用地費は満額十日町市で負担願う。建築費の負担問題はまだ決まっていない。新組合では職員数一八人を目標に定めている。十日町市と津南町の合併した組合が二人であり、川西町と中里村から、それぞれ三人ずつの派遣を想定している。私は、一五人ぐらいにしないと運営が大変だと主張している。

・農作物の当然共済加入面積基準・事務負担率・役員定数など基本的問題の処理は、合併推進協議会最大の検討事項となるわけである。慎重に対処しなければならぬ。

(2)メリットは・区域拡大による新しい種類への取り組み体制が図られる。・職制の専門化、分業で能率的な経営が図られる。・共通経費の節減で、組合員の負担軽減につながる。などであ

町行造林 杉の植え付け作業 (仁田地内)



る。デメリットは、事務所が遠く、不便になる。町村に出張所をおくなどサービス低下の防止が必要となる。

③ 東部地域の造林は、ほぼ終わった。六十三年度以降の西部地域は広葉樹の育成に取り組み予定である。キリ、アカシア類、ハンの木、ケヤキ、ブナ、キハダ、エンジュ、トチ、ホウの木などが、補助対象で認められている。補助率は杉と同じ七五%前後である。クリ、漆、桜、梅、イチヨウなどは、補助対象外である。なお、造林地内に広葉樹を残すことは特殊地ごしらえ事業を導入している関連から認められていない。

老人の健康と生きがい

小林 寅雄 議員

- ① 老人健康管理対策事業の取り組み
- ② 嫁・婿対策

南 雲 町 長

① 国保特別会計の予算規模は、加入者が減少しているにもかかわらず、年々増加している。それは、医療費の急上昇にともなうことは、ご存じのとおりである。六十一年度老人保険の一人当たり医療費は、一般被保険者の四倍となっている。いわゆる病院が老人の憩いの場として利用されるという現象を防止しながら、医療費節減を目的に計画した事業である。国保加入の六



郡老人クラブ旅行 (62. 7. 2 京都市)

十五歳以上の老人を対象に湯治を楽しんでいたかどうかというものである。

- ② (戸田議員の質問に対する⑧と平野議員に対する⑤の答弁と同内容につき省略)

松葉荘の運営と名物料理

根津 健治郎 議員

- ① 松葉荘の年末年始営業をできないか
- ② 農業生産体質強化総合推進事業の基本構想は
- ③ 堆肥センター建設の意義
- ④ 転作の重点作物の栽培、販路

の指導体制は

- ⑤ 南沢、野口地内の主要地方道の早期改修を

南 雲 町 長

- ① 松葉荘は、開館以来六年目を迎える。残念ながら利用者は年

々減少傾向をたどっている。原因は、地域住民の高級化指向。
・ 交通交通網整備で交通量の減少。
・ 他の施設との有機的結合のなさ。が考えられる。名物料理は、商工会中心の研究部会、ふるさと料理「一品運動」などの研究開発がある。大きな期待を寄せ、これらを活用したい。現実に「山サザエ」と称して、白倉産のタニシを出している。淡水魚テラピア料理、お好みかま飯料理など新メニューにつとめたいと意気こんでいる。

川西産コシヒカリの小売販売は、現行の食糧制度上認められない仕組みだそうである。年末年始の営業は、官庁と同じ休日避けるわけにはいかないという基本的問題があつてむずかしい。

② 農業生産体質強化総合推進事業の考え方は、産業として自立する農業確立に向けて・土づくり・生産の組織づくり・基幹施設の整備を計画的に実施し、稲作と転作を有機的に結びつける田畑輪換など合理的な土地利用方法を実現。水田の持つ高い生産力を最大限に発揮する地域輪作農法を確立するとともに、主要作物の生産性の高い生産地の育成を図る。ということである。五十八年度に策定した川西町農業生産総合振興計画を見直し、

六十二年度に計画策定をしたい。
③ 堆肥センターの建設は、良質な農産物生産のための土づくりが目的である。設置構想のプロセスは、プロジェクトチームで検討を重ね、六十四年度建設に向けて努力したい。

④ 六十二年度は、一八一・四ヘクタールを取り組むことになる。六十四年度もさらに転作が予想される。国策であり、現行の食糧制度のもとでは、取り組まなければならない重点課題である。町の重点作物としては、大豆、青刈りトウモロコシ、前作を伴うソバ、市場向け野菜(加工ナス、野沢菜、スイカ、アスパラガスなど)がある。町としても、これら重点作物に助成するとともに、栽培技術、販路拡大は農



松葉荘の売店とロビー

業改良普及所の指導を受けながら農協を中心として実施するよう働きかけてゆきたい。

⑤ 主要地方道の町管内約八キロは、すでに第一次改良が終了済みであるということから、交通量の増大など特種改良第一種事業すら導入できない路線である。仁田、北沢地内は、JRの残上活用を図りながら進めているところである。原田地内突角剪(せん)除は、六十二年度新規事業で八五メートルくらい実施の見通しである。新町新田は、交通安全施設で若干対応したい。路線全体としては、町の大動脈であることから、まとをしぼって重点的に予算付けがなされるよう今後も働きかけをしなければならぬ。

固定資産評価審査委員に

高橋重英さんの後任として、樋口虎一さん(戸戸)を選任することに同意しました。

財産の譲与

昭和四十五年に建設された老人憩いの家「月見荘」を、町社会福祉協議会に無償で譲渡することになりました。

を送り出した の歴史に幕

仙田小・小脇分校が閉校



元気にお別れの作文を読んでもくれました

（左から斎木悠輔君、由香さん、信義君）

三月十七日仙田小学校小脇分校（関谷重三主任）の閉校式がありました。

同分校は、明治三十九年（一九〇六）設置以来、小脇地区の教育文化活動の中心的な役割を担ってきました。

町村合併前後の昭和三十年代までは、三十人前後の児童がいました。それが、四十年代後半から激減、ついには六十二年度は三人となりました。そのうち二人が、この春、中学に進みますので、斎木悠輔君（三月現在五年生）一人になります。

住民係の調べでは、現在、同地区に裏歳の幼児が一人いるだけ、この幼児が就学期に至るまでの間、児童がいないこととなります。そこで、今回、閉校となったわけです。ただ、六十三年度に限り冬季分校が開設される予定です。

閉校記念式典（斎木錫輔実行委員長）での、児童のお別れの言葉（作文の一部）、部落の方々からうかがったお話を紹介します。

斎木信義君（三歳児）

学校がなくなると、大変さみしいと思います。それは、今まで鳴っていた学校のサイレンの音も、全校トレーニングの音楽も聞こえなくなるからです。ぼくたちだけでなく、村の人たちも、ものたりないのではないかと思います。

うれしいことは、閉校になっ

斎木由香さん（同 六年生）

わたしが、一年生のとき八人だった分校も、年々人数が減り、とうとう閉校してしまいました。とても、残念です。

残念な理由は、わたしは一度でいいから、後はいが勉強している学校へ、中学生になって来てみたかったです。中学の先ばいが、わたしたちが勉強しているところへ来ます。そのたびに、「いいな、わたしも早くあの場

斎木悠輔君（同 五年生）

今年の夏休みには、萩原橋の橋名板を書くために、毎日、習字の練習をしました。晴れて暑い日が続いたので、とても苦しい練習の毎日でした。だけど、一生に残るものを不真じめに書

ても、この校舎が残ることです。ぼくは、この学校で勉強することができて、ほんとうによかったと思います。人数が少ないからできたことが、たくさんあったからです。楽しいことや、つらいことがあったけど、今はもう、楽しい思い出しか残っていません。ぼくは、この学校生活を、一生の宝にしたいと思っています。

所に行けるようになりたいな」と思っていました。

残念な理由がもう一つあります。それは、学校のろうかの窓から、テレビの方が、見られなくなることです。わたしは、この景色がとても大好きです。春夏秋冬、全部、毎月ちがう景色が見られました。閉校すると、いつもの位置から大好きなテレビの方が、見られなくなってしまうのが、残念でたまります。

いたら、みんなにわらわれるようなものです。いくら暑くてもがんばろうという気持ちがあったのか、とってもまんぞくなものができて、よかったと思っています。これが、ぼくの一番の宝だと思っています。



346人 82年

分校に思いをよせて



佐藤丑松さん (74歳)

私は、大正十四年(一九二五)の卒業です。同級生が八人、全校の児童数は四十人前後だったと思います。室内運動場が、今の半分くらいだったせいもあって、休み時間には、児童があふれていた感じがしました。

これからこの建物を町や農協とご相談申し上げて、なんとか有効に利用できるように施設に改造し、村の活力を生み出す拠点にしてゆきたいと考えます。

閉校は時代の推移でやむをえません。この日を記念して、これから新しい小脇の歴史が始まるのだと考え、前向きに暮らしてゆきたいと思っています。



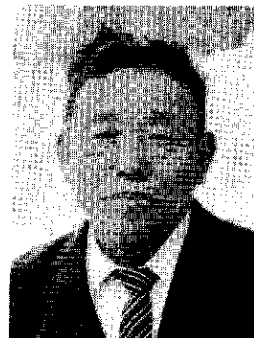
斎木マスエさん(左)とトシ子さん

ちやうど私たちの子どもの卒業と一緒に閉校することになりました。これも何かの因縁だと思っています。学校は子どもたちの教育の場ですが、村の人たちにとっても大事な教育文化の役割を果たしてきました。なんとか、それにかわる施設がほしいと思っています。

斎木 錦輔さん (51歳)



斎木周次さん (60歳)



小脇分校の歴史

- 明治39年 高倉小学校の分場として開設
- 明治41年(1908)校舎落成
- 昭和3年 分教場として認可開設
- 同 31年 同分教場舎落成
- 同 39年 全学級収容の分校となる

小脇の人口・世帯数と 同分校児童数の推移

年度	人口	世帯数	児童数
31	204	36	28
40	156	31	20
45	135	31	21
50	113	26	9
55	89	25	5
56	84	25	5
57	89	24	8
58	86	24	7
59	79	24	5
60	77	22	4
61	73	20	4
62	61	17	3



関谷先生と児童らを囲む村の人たち

農地を買収された地主の面積別戸数

(1反=10アール、1町=1ヘクタール)

面積別 区分	5反未満	5反以上 1町未満	1町以上 10町未満	10町以上	計
在村地主					
千手	166	14	21		201
上野	80	3	14	1	98
橘	115	8	15		138
仙田	198	24	31	1	254
不在地主					
千手	69	7	7	2	85
上野	43	5	1		49
橘	45	4	7		56
仙田	56	4			60
計	772	69	96	4	941

農地の売り渡しを受けた面積別戸数

(面積=昭20.11.23当時のもの)

面積別 旧町村別	5反未満	5反以上 1町未満	1町以上 2町未満	2町以上 3町未満	計
千手町	196	200	113	4	513
上野村	57	161	85		303
橘村	89	152	101	4	346
仙田村	261	342	76	1	680
計	603	855	375	9	1,842

農地委員と第二回選挙

四か町村農地委員の第二回選挙は、昭和二十四年八月十八日(千手町は十五日)に執行された。千手町と仙田村は全層委員を投票し、上野村は三層委員だけ投票し、橘村は全層委員とも無投票で当選人が決定した。川西郷四か町村の当選者は次のとおりである。

千手町 星名清一郎 蔵品準

歴史はる
語 13

川西郷の農地改革 ⑤

岩瀬金子幸作

司 大井元太郎 高橋与市 数
藤奇兵児 中村杜吉 高橋豊輝
田辺幸二(ほか不詳)

上野村 田村佐市 押木勝栄
内山巳作 清水作次 高橋一雄
星名保利 若山増平 上村耕平
上村勘三 入沢石三 小島謙作
若山三郎 水品正一郎
橘村 羽鳥朔市 村越已代次
丸山宗太郎 山田喜雄 藤巻為
治 和田教芳 田口幸太郎 丸
山周平 丸山喜作 五十嵐勝正
仙田村 樋口幸治 田中熊三

農地補助員

郎 小林竹治 高橋勘吉 小林
猪作 小林与作 長谷川儀平
岡島理吉 高橋重英 中条耕平
茂野周治

農地改革の開始から完了まで、農地委員を補佐して農地解放の円滑な遂行に貢献した人に農地補助員がいた。農地補助員は、地主と小作の双方に信望の厚い人が、各集落の農家組合ごとに選任され、農地解放に必要な調査や各種の伝達、連絡、調整に当たっている。

各集落の農地補助員は次の人たちであった。

千手町 田村仁太郎 田村茂平 山岸象治郎 星名福治 中村正太郎 市川準平 丸山愛蔵 村山庄八 星名寅治郎 高橋徳一 高橋吉太郎 高橋真雄 太田幸吉 高橋与市 関口時晴 柄沢了平 星名善次郎 蔵品喜三郎 喜多誠太郎
上野村 星名善一 富井信一 上村富治 田畑安二 丸山一夫 渡貫軍治 上村義雄 高橋信一 小海新太郎 中島新平 田畑基徳
橘村 丸山周作 丸山茂吉 丸山正平 滋野定雄 滋野正 野沢清一 滋野峯三郎 野沢賢

農委事務局の職員

次 山田勇 秦野誠一郎 和田周作 春日源七 藤巻徳松 藤巻立吉 田口一男 田口豊三
仙田村 南雲俊平 増田忠治 桑原正一 佐藤常一郎 高橋彦一 斎木和市 佐藤常一郎 茂野萬治郎 樋口幸治 高橋勤 小川政治 川崎正平 登坂敬恒 高橋音治 登坂為治 小川高助 中条幸一郎 岡島理吉 江口初太郎 江口増之 小川毎治 茂野間治 押木良作 川崎富雄 川崎一郎 高橋利吉 小川文治郎 小川大作 中条徳治 高橋政一 江口義一

戦後の混乱期を農地委員会に採用され、事務局職員として、農地解放の事務に従事した人たちは次のとおりである。
千手町 石沢昌平 清水秀雄 柄沢ノブ 高橋英治
上野村 上村政基 松沢良平 田村けん 小海きわ 沢口富士雄
橘村 田口サダ 山口芳蔵 田中清美
仙田村 小林竹治 佐藤克平 青木好栄 押木良作 青木ケン 押木和子 南雲ノヨ 藤巻文子 小川益栄 高橋京

農業委員会の誕生

農地改革が軌道にのり、耕地の解放が山をこえたころ、GHQ(連合国軍総司令部)が、「農地改革の成果の恒久的な保持」を強く要求した。政府は、農政機構を一元化した農業行政の推進を決定し、二十六年三月に「農業委員会法」を公布、施行した。これにより、従来の農地委員会、農業調整委員会、農業改良委員会は発展的に解消し、三委員会を取り扱ってきた事項を処理する農業委員会が発足したのである。

農業委員会は、農業生産力の発展と農業経営の合理化をはかり、農民の地位の向上に寄与することを事業の目的とした。農地委員会から自作農の創設と維持、農地の利用と調整、農地の交換分合計画などの事務を引き継いだ。農業調整と農業改良の二委員会からは、主要食糧の供出割当と農業総合計画の事務を引き継いだ。以後は、三十一年九月の町村合併で川西町に継承され、農地改革後の多難な農政を支えて現在に至っている。

本稿は、南雲町長所蔵の資料をお借りしてまとめました。

筆者

— 国道404号 —

「渋海トンネル」と決定

国道404号大倉～大白倉に新しくできるトンネルの名前が決まりました。

本紙1月号で募集したところ72人から、39種類の名前が集まりました。3月16日審査の結果「渋海トンネル」に決まりました。それぞれ同じ名前を応募した方々の中から抽選で、次の3氏が入賞しました。(敬称略)

秀作

「渋海」赤谷 小川 角治

佳作

新潟市 石橋 慶邦
小根岸 小海 正太郎

トンネルが予定される大倉側地点



2月20日 発

ふろしき包みで 通った思い出

京都市 市川 竹治さん

(平見出身)

春とはいえ、厳しい雪の季節。テレビによると、二月に入ってから降雪が続いているとか。大変な雪との日々をお過しのことと存じます。

いつも広報紙をお送りいただき、町の行事や出来事などがよくわかり、ほんとうにありがとうございます。

私も京都に来て四十年となりました。たまたま去年、小学校時代の同級会に寄せていただきました。懐かしい故郷の友達にあたたかく迎えられ、感激と喜

びで胸がいっぱいになりました。今でもその日のことが脳裏からはなれず、楽しい思い出となっています。そしてそれからさかのぼって、平見から教科書を入れたふろしき包みを背中に通学した道中の野山を、懐かしく思い出しています。

当京都も北寄りには寒く、時折雪のちみつきともありますが、中心部は、観光客でにぎわっています。三月、四月ともなると修学旅行などで一段とにぎやかになります。とくに、有名な祇園祭、大文字、時代祭は、大変な人出となります。皆さんもぜひ一度「京都にお越しやす。お待ち申しております」。

ふるさとはまだ、降雪で寒い日が続いていることと存じますが、皆さまの健康と町の発展を心からお祈り申し上げます。

伝統ある会旗を開む

東京高倉会のみなさん



上野 (東京)

池のほとりで

天神ばやし

三月十二日都内上野の新潟県人会館で、東京高倉会(高橋清吾会長)が開かれました。

昭和八年に創設したという同

会は、この日の集まりで三十二

回を数え、会員六十一人が出席

しました。当町からは、南雲町

長と高橋町議が同席しました。

高橋会長は「東京には旧仙田

村の東京会がいくつかあるが、

私どものように伝統と多数を誇るグループは、ほかにない」と同会のまとまりの良さと歴史の深さを誇っていました。

今年の秋は、一晩泊まりの郷土訪問の旅が計画されています。宴会では、すでにこの日を待ちわびて、話はふるさとの野山をかけめぐっていました。

延べ1万人が参加 3月5日～6日

まつり

角万寺スキー場特設会場



▲ 手づくり原宿ファッションショー

地元の若者が企画、演出すべてをやり、モデルも地元のヤングレディー13人が出演。ナウなファッションが光と雪のステージに映えました。



◀ 全国初の企画「人間バン馬大会」

ソリに200kgの荷物をつけて、1周500mのコースを5人1組でタイムを競いました。参加30チーム、150人。



裏方さんご苦労様でした ▲

いろいろな方々のご協力があった雪まつり、立派に完成した純白の前夜祭ステージ。幅20m、高さ10m。てっぺんに町の旗。

▲ 売り子さんの声もかすれぎみ

角万寺スキー場入口には、コシヒカリのおにぎりなど名産品がずらり、サービスの甘酒とウサギ汁はあっというまでした。

▼ まつりを盛り上げた好演出の前夜祭

チビッコ歌合戦、伝統のさいの神行事、ミスかわにし発表、手づくりファッションショー、フィナーレは総勢50人の川西音頭の踊り、スターマインなど花火打ち上げ。ステージの熱演に、観客は小雪まじりもなんのその。



▲ 光ゲンジ? も参加

元気いっぱいチビッコ紅白歌合戦。へこわれそうなものばかりあつめてしまうよ…の「ガラスの十代」フィナー。

第1回

雪西川

温暖の地 静岡から

かわいらしいお便り

三月十四日広報係あて、ピンクのかわいらしい封書一通が届きました。静岡市内の小学五年生杵塚美知（きねつか・みち）さんと大畑史子（おおはた・ふみこ）さんのお二人からでした。

こんにちは。

今、私たちは、学校の社会科でこそ問題の勉強をしています。

三月十日の朝日小学生新聞（広報係注）朝日学生新聞社発行の（日刊紙）に、川西町の村おこしのことがのっていました。村おこしやいろいろなたいさくがあるそうなので、そのことについて教えてください。

① 川西町の人口は、何人ですか？（くわしく）

② かその原因は何ですか？

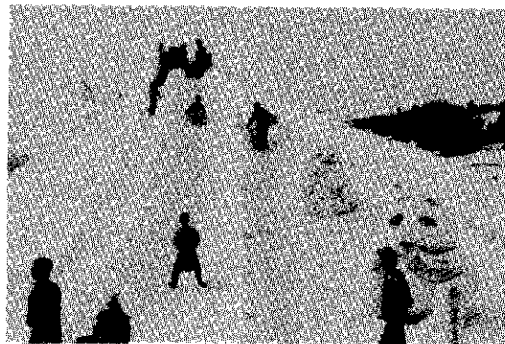
③ そのためのたいさくは、どんなことですか？（いろいろ）

④ 前に、たいさくで話し合ったとき「森林を切り開き、工場をつくって人をあつめる」といういけんができました。



▲ 勝手に違う雪上モータースポーツ

バギー、モトクロス、スノーモービルに129人が出場。遠くは千葉、東京、茨城からも参加。選手も観客も楽しさ満喫。



▲ あっと驚く雪像広場

町内各小・中学校のPTAによるアイデアいっぱいの大雪像8基。雪像づくり参加者延べ700人。



▲ 選手はすがさ・スッポンで

スポーツ宣言町にふさわしいクラブ対抗雪上ソフトボール大会。ホームランも飛び出していい汗を流しました。参加20チーム、選手300人。

川西町ではどうですか？
知っているのもしありますが、もっとくわしく知りたいと思っています。よろしくお願いします。

もう一つのふうとうの中にびんせんが入っているのので、それにもんだいのこたえをかい、じゅうしょのかいてあるふうとうに入れて出してください。

ちゃんと切手をはった返信用封筒と便せんまで同封されていきました。さっそく、広報係では三月に印刷製本されたばかりの「総合開発計画」を参考にしながら、四つのご質問に対するお返事を差し上げました。

山あいにとだますエネルギー 雪上運動会

三月二十日、第一回白倉地区雪上運動会が開かれました。農協白倉出張所裏の特設グラウンドには、両白倉の子どもたち、

青年会員、婦人会、老人クラブ員など、およそ百二十人が集まりました。

この運動会は、去年六月に発足した「白進会（江口憲一会長 会員三十人）」が企画運営し、地区の区長会と共同で実施しました。

「冬場はこれといった行事もなかったが、みんなで力を合わせてやったことに大変意義があったと思います。」と江口会長は語っていました。

地区の若い人のアイデアと実行力で進められた雪上運動会。白進会の次の企画も着々と進んでいるそうです。



白倉初の雪上運動会（大白倉 桐生正実さん撮影）

63年新潟県書き初め大会入賞者

主催 県書道教育研究会

注 学年などは、入賞した1月当時のものです。

準大賞 <中1>田村真一
特選 <小2>小海明子(千手) 星野智子(仙田) <小3>蔵品和臣 平野雄介 小林純子(以上千手) <小4>清水正憲 小海祐介 星名恵美子 田村雅寿美 斎木恵美 高橋和香子 春日麻由美(以上千手) <小5>清水孝 田中稔 高橋和久 石沢宏能(以上千手) 大久保博基(橘) <小6>高橋ゆかり 星名弘文(以上千手) <中1>北村吉弘 <中3>星名友紀 角谷諭
準特選 <小1>門脇真佐美 春日絵美 根津正樹(以上千手) <小2>高橋倫子 柳香織(以上千手) <小3>八重沢竜也 関口厚美 丸山由加里 南雲朝子 村山正浩(以上千手) 大久保雅基(橘) <小4>高橋梢 高橋詩江 星名愛美 田中光倫 関雅夫 横間悠 数藤真弥子

(以上千手) 根津章 戸田むつみ(以上橘) <小5>太田綾 羽鳥貴志 富永浩一 金子亜由美(以上千手) 角谷真 高橋悟 若山勝美(以上上野) 滋野恵美子(橘) <小6>沢潟友美 星名聡美(以上千手) 戸田奏子 水落江利子 村越ルミ(以上橘) 江口香織(白倉) <中1>藤巻美雪 大塚恵里 茂野暁子 戸田美和子 <中2>星名美保 数藤光恵 田中みどり 星名浩美 <中3>小海裕 北村広子 丸山元子 南雲貴司 川崎忍 高橋直樹

優秀団体校には、参加574校中、千手小学校(渡辺一作校長・児童数401人)と、同194校中川西中学校(土佐弘校長・生徒数443人)が、それぞれ選ばれました。

ガイド

情報

停電のお知らせ

4月21日(木)午後3時～5時30分
 上野の一部

心配ごと相談

4月17日(日)……克雪センター
 24日(日)……総合センター
 ※行政相談も合わせてあります。
 5月1日(日)……上野コミセンター
 8日(日)……橘コミセンター
 時間は、午後1時～3時です。

移動交通事故相談

5月2日(月)
 十日町市役所
 受付は、午前10時～午後2時



生後4か月の
 草(あらた)ちゃんと

♥ 彼女さんは旅館のお嬢さん
 ♥ 職場に正式採用される前の数年間、苗場スキー場の旅館でアルバイトをしていました。その旅の娘さん、かれんなちゃんとお会いしました。
 ♥ 彼女がバイトに来たときは、まだ高校生でした。弟と妹の三人で「お兄さん」と呼んで、何かと頼っていました。バイトのほかに、私の短大受験の家庭教師役もしてくれました。

♥ 苗場は全国有数の観光地だけあって、「若者の町」という感じですが、川西町は「福祉の町」といった印象です。若い人が少ないような気がします。明るいイメージが出来るように、少しでもお手伝いさせてください。嫁さん候補も何人か知っています。お役にたてましたら……。

アルバイト先で

愛キャッチ

寺尾 ♥ 南雲 浩さん
 ♥ 要子さん
 (湯沢町から)

明るいイメージの町に

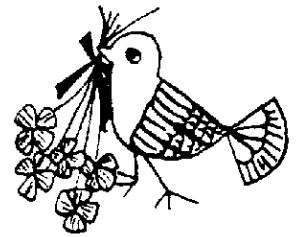
♥ とてもラッキーでした。二世も誕生し、家の中は花が咲いたような笑顔がいっぱいです。何かグッと力が湧いてくるような気分です。

♥ 短大を卒業後に両親が、「あのような好青年と一緒になれば幸せになれるだろう……」と見初めてくれました。
 両親の推薦付き
 ♥ 夏場は、役場の野球部の監督などで忙しかつたのですが、休みはほとんど湯沢へ通いました。バイトのことより、プラスアルファに重みがあつたのかもしれない。



(21)

善意



(敬称略)

一般寄付

孫六商店(株)(清水俊六社長・中
央町) カラーテレビ (29イ
ンチ型) 一台

交通安全対策に

平野義久(四郎兼) 三万円

広報発行に

富井 功(福生市) 五千円

今年の暦

「今年は、五月四日(水)は休日なんですか?」

近ごろ、総理府広報室にはこんな問い合わせがあるそうです。

実は、昭和六十年十二月に、「国民の祝日に関する法律」が改正になり、「その前日及び翌日が『国民の祝日』である日は、

4月1日～30日

緑の羽根募金



上野小・緑の少年団 (62. 4)

庁内人事

退職 三月三十一日付

保健婦 小林 幸枝
用務員 広田 育郎

採用 四月一日付

事務吏員 市川 伸
保健婦 山田 昭子

休日とする(三条二項)という規定が加わったのです。ところが、一昨年の五月四日は日曜日、昨年は憲法記念日の振替休日だったため、この規定が意味をもつてくるのは今年から。

この事実、意外と知られていないようで、カレンダーによって、五月四日を平日としたままのものもあるようです。

ねんきん

ふくし

年金の請求先

役場か社会保険事務所へ

年金は資格があっても、請求をしないと受けられません。請求先は、加入していた年金制度によって、役場だったり、社会保険事務所だったりします。今月は、年金の請求先を紹介しましょう。

老齢基礎年金

◇国民年金の加入だけの人
年金に加入した期間が、国民年金だけの人は、役場年金係へ請求することになります。

◆厚生年金に入っているとき
に、障害者となった人は、社会保険事務所へ請求することになります。

遺族基礎年金

◆厚生年金の加入がある人
会社勤め、一か月でも厚生年金に加入したことがある人は、社会保険事務所へ請求することになります。

障害基礎年金

◇国民年金に入っているとき
に、障害となった人は、役場年金係へ請求することになります。二十歳前で、年金制度に入っ

◆厚生年金の加入がある人が亡くなり、妻や子供がのこされたときは、社会保険事務所へ請求することになります。



子供のいない妻・五十五歳以上の夫・同父母・同祖父母・十八歳未満の孫がのこされたときは、遺族厚生年金の請求となります。

社会保険事務所への請求は、移動相談日を利用すると便利です。

◎相談日 毎月十二日(この日が土曜日のときは十四日)

◎会場 十日町織物会館

◎時間 午前十時～午後三時

戸籍の窓から

うぶ声—おすこやかに

山田 猛 正人 二男 仁田
千加子
小林香奈子 大三夫
浩子 長女 木島



かわにし

俳壇

太田白南風選

伊勢原市 金子 桂吉

招待の花見の便り届きけり
幹などで仰ぐ大樹の桜かな
夕映えを障子に写し日脚のぶ

所沢市 池上マサ子
土筆野のこころ摘跡ありにけり
やわらかき日の当りをりつくしんぼ

大倉 中条 石平

水仙にまだ残雪の深かりし
雪焼けの妻の迎える旅帰り

小白倉 江口みゆき

立話まだつゞきをり日脚のぶ
雪柳ふさわしき名として咲ける

三領 水品 律

猫柳きのふより今日水の嵩
ほろ寒き日を重ねつ、春めける

中屋敷 数藤 壮一

底雪崩いま見てきしと落着かず
陽あたりも影もひとしく日脚のぶ

昇天—ごめい福を祈る

風間 勝 43 (本人) 中屋敷

清水 清也 55 (幸) 寺尾

星名 由松 64 (本人) 高原田

渡邊 マイ 72 (忠治) 中屋敷

茂野 美代 73 (榮治) 学校町

尾身 シノ 75 (本人) 中島町

野口 野沢 寅生

困い解く育苗棟に灯のつきし
連なれるはざ木真直ぐ山笑う

在名古屋市 高橋 願似

門入りて香のわたりくる沈丁花

小脇 佐藤 信一

花蕾ふくらみゆける春の雨

岩瀬 小川 益栄

摘みし手にうつり香のして藤のとう

霜条 星名 星光

椿の裏つきぬけ炎燃え立ちし

新町新田 井川 亘

窓ごしの弥生の月のや、おぼろ

新町 万 柿

沓え返り沓え返りつ、春近し

霜条 大海 白濤

柿の木の下に笠揺れ春めける

中仙田 左 木人

萌るもの皆いとほしく山の春

野口 村越 幸

菜畑と思へる雪に灰を撒く

守口市 大久保正作

連りてひしめく土筆摘みにけり

赤谷 登坂 醉月

山里に味噌を煮る香や春めける

投句要領

(締め切り 毎月末日厳守)

- ▶ はがき1枚に5句前後。
- ▶ 題はとくに定めません。そのとき可。
- ▶ 町内名、氏名(雅号でもよい)明記。
- ▶ 川西町役場内「文書広報係」または、中央町「太田白南風」あて。
- ▶ 初心者投句歓迎。

白井 エイ 76 (彦治) 寺尾

齋木 治作 88 (孝平) 高倉

若山 千蔵 93 (三蔵) 新町新田

たかさこ—「円満に

小林 幸枝 中仙田から

小林 隆 中仙田

小林 幸枝 中仙田から

枚方市 和田みのる

しみ渡り出来る頃かや里の春

―初心者講座⑧―

感動して句を作れ

「俳句以前」ということばがある。そ

れは作句前の心の持ちようが大切だ

という意味である。心が澄んだとき

の感動が表現されるのである。感情

が先走りすると描写より露骨に感情

だけがむき出しになって句は死んでし

まう。ある描写の中から湧き出してく

る情というものはしみみみみみみ

情というものはしみみみみみみ

情というものはしみみみみみみ

情というものはしみみみみみみ

情というものはしみみみみみみ

情というものはしみみみみみみ

情というものはしみみみみみみ

情というものはしみみみみみみ

情というものはしみみみみみみ

情というものはしみみみみみみ

情というものはしみみみみみみ

情というものはしみみみみみみ

情というものはしみみみみみみ

検診は自分のため

神社町 小海 博さん 貴代美さん

「役場から取材に来るとい

電話があつて、びっくりしまし

た。」開口一番、奥さんから取

材の理由をたずねられました。

町の保健衛生課で、過去のが

ん検診の実績を調べたところ、

三十歳以上の夫婦で連続四年、

「がん検診」を受診したのは、

町では小海さんご夫妻、たった

一組ということでした。

そこで、今回、設計事務所を

営んでいる小海さんご夫妻に、

がん検診を受診した動機などを

聞いてみました。(▽はご主人、

△は奥さんのお話。)

受診の動機……

▼自分の身近の方で、同年代

の人が、がんで亡くなり本当に

かわいそうなきがかりました。

家族のことを考えると、一年に

一回の検診を受けることで、少

しでも早くがんが発見できて、

手当てできればと思い受けてい

ます。

▽私の父も、五十四歳のと

きに、胃がんで死亡しています。

手軽に、費用も安く検査してく

れるので受けています。不摂生

していても、受けてなんともな

いと安心しますから。

検診を受けてみての感想……

▽検診の会場に行くと、いつ

も感じることは、同年代の人が

まず、少ないことに驚きます。

二回ほど、精密検査の通知があ

り病院に行きました。胃カメラ

も飲んでよく検査してもらいま

したが、なんともありませんで

した。(保健婦の話では、集団検

診のときに、ちよつとでも異常

があれば、精密検査の通知がき

ます。)

▼待ち時間は少なくて受診で

きるし、バリウムも飲みやすい

のに、どうして受ける人が少な

いんでしょうか。自分の体の管

理は、きちつとやっています。病

気になることもあります。元氣

なときこそ、受けるべきではな

いでしょうか。自分のことです

から。



事務所で語る小海さんご夫妻